

3. 自己意識・社会意識

○ 価値観について、男女とも【継続独身】は、「親孝行」や「恩返し」をすることは大事なことだ」という伝統的価値観が相対的に低い状況となっている。また、男性の場合は「自己の能力や生き方に自信を持っている」が相対的に低く、女性の場合は「個人の権利や自由を尊重することは大事なことだ」が相対的に低い状況となっている。

図表3-1. 価値観(複数回答)(基数:全体)

(%)

各グループN=150	親孝行をすることは大事なことだ	世の中には、不公平なことが多いと思う	日本の社会通念や習慣は男女平等と思わない	恩返しをすることは大事なことだ	個人の権利や自由を尊重することは大事なことだ	社会が良くなつてこそ個人が幸せになる	日本人であることに誇りに思う	間違っていると思う人がいれば、注意する	政治や社会問題に関心がある	自分の能力や生き方に自信を持っている	まじめに努力すれば、報われる社会だと思う	自分の将来は明るい	誰もみてなければ多少規則を破って構わない	21世紀は希望に満ちた社会になると思う
若年独身男性	62.7	68.0	49.3	58.0	53.3	36.7	28.7	17.3	21.3	22.0	12.7	10.0	5.3	5.3
継続独身男性	58.7	67.3	40.0	49.3	51.3	46.0	34.7	22.0	23.3	14.0	15.3	6.0	4.7	1.3
若年無子家族男性	77.3	70.0	42.0	60.7	50.7	39.3	27.3	22.7	20.0	20.0	5.3	11.3	2.7	2.7
若年独身女性	80.7	70.7	59.3	53.3	57.3	37.3	20.0	14.7	10.7	12.7	3.3	8.7	4.0	0.7
継続独身女性	64.7	68.7	55.3	38.7	48.0	37.3	25.3	10.7	11.3	10.0	7.3	4.7	0.7	2.0
若年無子家族女性	82.7	54.0	50.7	57.3	56.7	36.0	23.3	10.7	7.3	15.3	5.3	12.7	1.3	0.0

○ 現在及び将来の不安について、男女とも【継続独身】では「自分の健康・病気」、「老後の生活」及び「親の介護」という“自分に直接関わること”が相対的に高い状況となっている。

図表3-2. 現在及び将来の不安(複数回答)(基数:全体)

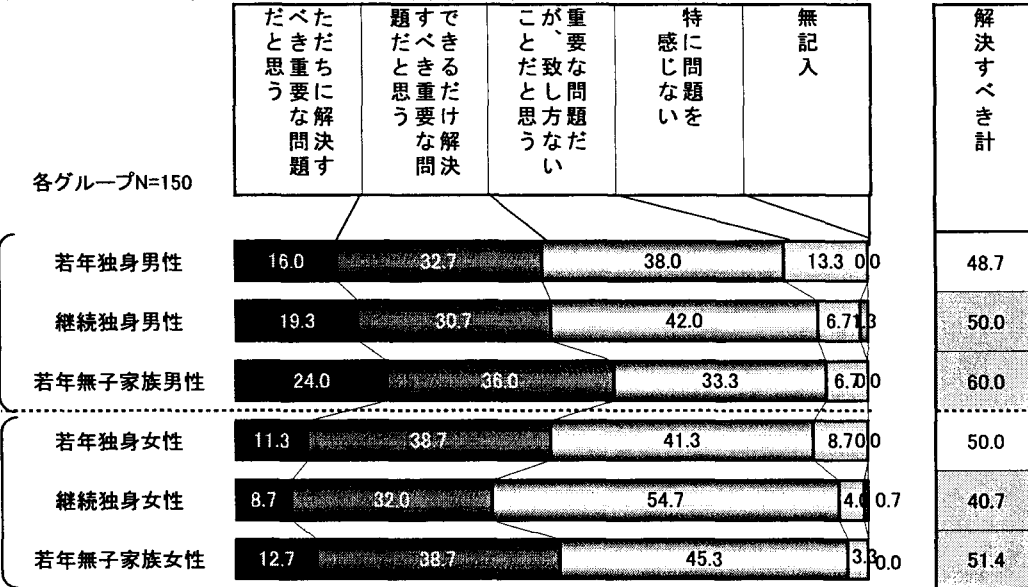
(%)

各グループN=150	家族の健康・病気	自分の健康・病気	老後の生活	国の経済・景気	親の介護	社会の治安	給与・年収のダウン	日本の将来・行方	子どもの将来	リストラ・失業	自分の進路・将来	財産・貯蓄の目減り	妊娠・出産	結婚・離婚	自分の会社の業績・将来
若年独身男性	44.0	48.7	29.3	51.3	28.0	35.3	26.0	50.0	4.7	23.3	47.3	14.0	2.7	32.0	15.3
継続独身男性	42.0	68.0	44.7	43.3	38.7	40.7	35.3	38.0	10.7	33.3	29.3	20.7	2.7	35.3	17.3
若年無子家族男性	56.7	51.3	39.3	54.7	30.0	32.7	45.3	40.0	10.7	29.3	28.7	20.0	22.0	6.0	20.7
若年独身女性	52.0	52.0	40.0	39.3	39.3	34.7	26.7	31.3	5.3	18.7	51.3	17.3	34.7	50.0	6.0
継続独身女性	67.3	66.0	64.0	42.7	55.3	39.3	27.3	34.7	11.3	27.3	30.0	18.0	19.3	34.0	8.0
若年無子家族女性	66.0	44.7	50.7	43.3	37.3	39.3	38.0	30.7	9.3	21.3	14.0	23.3	60.7	4.7	3.3

4. 少子化についての考え方

○ 少子化問題のとらえ方について、【継続独身】は、「ただちに解決すべき重要な問題だ」と思う」又は「できるだけ解決すべき重要な問題だ」と回答した者の割合が、男性で5割、女性で4割にとどまり、【若年無子家族】に比べて1割程度低くなっている。

図表4-1. 少子化問題のとらえ方(単数回答)(基数:全体) (%)



5. 【継続独身】についてのまとめ

- 【継続独身】は、【若年独身】や【若年無子家族】に比べて、結婚について、「好きな人と一緒にいられる」という精神的な満足を得るものよりは、「社会的な信用」や「経済的な安定」という物質的な満足を得るものと捉える傾向が強い。また、結婚に伴う「ストレス」や「義父母や親戚などとのつきあい」という面を強く意識する傾向がある。
- このような中で、『結婚には喜びや希望を感じる』と受け止める者が、男性では8割弱、女性では7割と他のグループに比べて少ないが、実際に結婚している【若年無子家族】では男女とも9割を超えている。
- さらに、「親孝行」や「恩返し」という伝統的価値観が低く、「自己の能力」や「生き方」に対する自信も幾分弱く、「自分の健康・病気」、「老後の生活」及び「親の介護」という“自分に直接関わること”に不安を抱く傾向がある。
- したがって、【継続独身】については、物質的な満足感を追求し、個人や自分を強く意識する傾向がある中で、精神的な満足感を含め、結婚の意義や大切さを伝える取組を更に推進することが必要である。

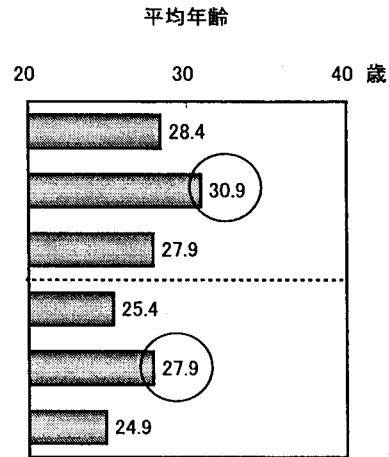
II 「継続無子家族」と「若年無子家族」・「若年一人っ子家族」の比較

1. 結婚意識

○ 平均結婚年齢について、男女とも【継続無子家族】は相対的に高く、他グループと3歳ほどの開きがある。

図表1-1. 結婚年齢(単数回答)(基数:全体) (%)

各グループN=150	5 2 5 歳	2 6 5 2 9 歳	3 0 歳 以上	無 記 入
	若年無子 家族男性	25.3	44.7	
継続無子 家族男性	12.0	31.3	56.7	0.0
若年一人っ子 家族男性	30.7	40.0	29.4	0.0
若年無子 家族女性	54.0	42.0	3.3	0.7
継続無子 家族女性	33.4	39.4	26.7	0.7
若年一人っ子 家族女性	58.0	36.7	4.7	0.7



○ 結婚のきっかけについて、男女とも【継続無子家族】は「きっかけはないが一緒に暮らしたかった」が相対的に低く、「自分の年齢を考えて」が相対的に高い状況となっている。

また、女性の場合は「交際期間の長さを考えて」も相対的に低い状況となっている。

図表1-2. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:全体) (%)

各グループN=150	き っ か け は な い が 一 緒 に 暮 ら し た か っ た	自 分 の 年 令 を 考 え て	交 際 期 間 の 長 さ を 考 え て	家 族 ・ 子 ど も が 欲 し く な っ た の で	相 手 の 年 令 を 考 え て	親 が 心 配 し て い る の で	相 手 に 結 婚 を 迫 ら れ て	友 達 ・ 仲 間 の 多 く が 結 婚 し た の で	生 活 に 変 化 が 欲 し く な っ た の で	子 ど も が で き た の で	結 婚 し た 方 が 経 済 的 に 思 っ た の で	親 の 年 令 を 考 え て	転 勤 ・ 海 外 赴 任 が 決 ま っ た の で	近 親 者 が 病 気 に な っ た の で	職 場 の 上 司 か ら 薦 め ら れ て	ライ バル が 出 現 し た の で
	若年無子 家族男性	52.0	36.0	32.7	20.0	23.3	8.0	4.7	7.3	4.0	1.3	6.7	4.0	3.3	1.3	0.7
継続無子 家族男性	40.7	49.3	20.7	10.0	16.7	9.3	6.7	8.0	4.0	0.0	1.3	3.3	2.0	2.0	0.7	0.7
若年一人っ子 家族男性	46.7	35.3	20.7	24.7	18.0	3.3	4.7	8.0	5.3	11.3	2.0	4.0	4.7	1.3	0.7	0.7
若年無子 家族女性	50.0	25.3	27.3	13.3	9.3	12.0	13.3	6.7	11.3	0.7	10.0	2.0	2.7	0.7	0.7	0.0
継続無子 家族女性	36.0	42.0	13.3	10.0	8.7	15.3	11.3	10.0	8.0	1.3	5.3	2.0	1.3	1.3	0.0	0.0
若年一人っ子 家族女性	41.3	34.0	30.7	18.7	13.3	8.7	14.7	3.3	6.0	16.7	1.3	2.7	3.3	1.3	0.7	0.0

○ 結婚のよい点について、男女とも【継続無子家族】は、「家族や子どもを持てる」及び「好きな人と一緒にいられる」が相対的に低い状況となっている。

また、男性の場合は、「精神的な安定が得られる」及び「人生の喜びや悲しみを分かち合える」が相対的に高く、女性の場合は、「経済的な安定が得られる」が相対的に高い状況となっている。

図表1-3. 結婚のよい点(複数回答)(基数:全体) (%)

	家族や子どもを持てる	精神的な安定が得られる	好きな人と一緒にいられる	人生の喜びや悲しみを分かち合える	社会的な信用が得られる	経済的な安定が得られる	親や周囲の期待に応えられる	一人前の大人だと感じられる	親から独立できる	交友関係が広がる	生活上の不便が無くなる	性的な充足が得られる	あてはまるものはない
各グループN=150													
若年無子家族男性	48.7	65.3	74.7	44.7	22.0	4.7	10.0	16.0	6.7	10.7	10.7	8.7	0.7
継続無子家族男性	32.0	75.3	56.7	54.0	32.0	6.7	11.3	17.3	6.0	9.3	17.3	12.0	0.7
若年一人っ子家族男性	83.3	61.3	62.7	45.3	29.3	4.0	8.0	14.7	8.7	8.7	16.0	14.0	0.7
若年無子家族女性	51.3	74.7	71.3	60.7	17.3	22.7	14.0	11.3	20.0	8.7	9.3	7.3	0.7
継続無子家族女性	24.7	69.3	53.3	49.3	19.3	29.3	13.3	8.7	18.0	13.3	8.7	3.3	3.3
若年一人っ子家族女性	84.7	56.0	62.0	50.0	15.3	16.7	18.7	6.7	10.7	8.7	6.0	4.0	0

○ 結婚のよくない点として、男女とも【継続無子家族】は「自分の自由になる時間が少なくなる」及び「自分の自由になるお金が少なくなる」が相対的に低く、「あてはまるものはない」が相対的に高い状況となっている。

図表1-4. 結婚のよくない点(複数回答)(基数:全体) (%)

	自分の時間が少なくなる	行動が制限される	自分の自由になるお金が少なくなる	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	家事に縛られる	ストレスがたまる	家族扶養の責任が生まれる	仕事やしづらくなる	交友関係が狭くなる	恋愛が自由にならなくなる	親元から離れなければならなくなる	生活のレベル・質が落ちる	あてはまるものはない
各グループN=150													
若年無子家族男性	40.7	44.7	50.0	14.7	4.7	9.3	19.3	0.7	9.3	9.3	1.3	4.0	12.7
継続無子家族男性	30.7	47.3	35.3	20.0	3.3	9.3	14.0	0.0	3.3	7.3	0.0	3.3	26.0
若年一人っ子家族男性	54.0	54.0	58.0	18.0	2.7	11.3	22.0	0.7	7.3	5.3	0.7	3.3	12.7
若年無子家族女性	33.3	34.0	37.3	42.7	26.7	16.0	8.0	14.7	10.7	11.3	16.7	4.0	10.0
継続無子家族女性	30.7	38.7	22.7	51.3	32.0	21.3	6.0	11.3	6.7	8.7	6.7	5.3	13.3
若年一人っ子家族女性	56.0	48.7	44.7	46.7	38.0	28.0	7.3	19.3	12.0	8.0	10.7	2.7	5.3

2. 家族意識

○ 子どもの位置づけについて、【継続無子家族】は、「生きがい・喜び・希望」、「無償の愛を捧げる対象」及び「夫婦の絆を深めるもの」が相対的に低く、「独立した一人の人間」及び「自分の血を後世に残せるもの」が相対的に高い状況となっている。

図表2-1. 子どもの位置付け(回答3つまで)(基数:全体) (%)

	生きがい・喜び・希望	無償の愛を捧げる対象	夫婦の絆を深めるもの	独立した一人の人間	自分の血を後世に残せるもの	自分の分身	社会的資産	配偶者の分身	経済的負担を与えるもの	老後の面倒を見る人	精神的負担を与えるもの	ライバル
各グループN=150												
若年無子家族男性	66.0	36.7	46.0	28.0	32.0	21.3	3.3	8.7	4.7	2.0	1.3	0.0
継続無子家族男性	55.3	30.0	33.3	30.7	44.7	22.7	7.3	8.0	4.0	2.0	1.3	1.3
若年一人っ子家族男性	88.7	59.3	42.7	15.3	20.0	24.0	4.7	4.7	1.3	2.7	0.7	2.0
若年無子家族女性	66.0	53.3	48.0	26.0	19.3	17.3	2.0	10.7	8.0	1.3	3.3	0.0
継続無子家族女性	46.7	40.7	30.0	40.0	30.7	15.3	7.3	5.3	6.0	3.3	4.0	0.7
若年一人っ子家族女性	79.3	71.3	39.3	29.3	12.0	22.7	3.3	4.0	0.0	0.0	2.0	0.7

○ 子どもに残したい・伝えたいものについて、男女とも【継続無子家族】は、「親子の絆」が相対的に低い状況となっている。

図表2-2. 子どもに残したい・伝えたいもの(回答3つまで)(基数:全体) (%)

	強生きまで行く上での知恵	愛	親子の絆	人生の素晴らしさ	自分の人生観	財産	守家訓・先祖から	ネットのつきあいや	自分の夢	仕事・家業	築いてきた地位
各グループN=150											
若年無子家族男性	71.3	30.0	35.3	28.7	21.3	15.3	4.7	5.3	4.0	4.7	0.0
継続無子家族男性	66.7	26.0	26.7	30.7	19.3	12.0	6.7	2.0	2.7	4.0	0.7
若年一人っ子家族男性	76.7	28.7	39.3	31.3	13.3	14.0	6.7	3.3	4.7	2.7	0.0
若年無子家族女性	74.0	50.7	38.0	30.7	8.7	8.0	6.7	6.0	4.7	0.7	0.0
継続無子家族女性	78.0	44.0	26.7	32.0	10.0	8.0	8.0	1.3	2.0	0.7	0.0
若年一人っ子家族女性	84.7	46.7	42.7	22.7	3.3	14.0	3.3	1.3	2.7	0.0	0.0